

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
地域による避難所運営検討支援事業【美原区区民評議会関連事業】		美原区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H29	H30	H31
美原区における小学校区ごとの防災対策の進捗状況や今後の課題について、地域住民と区、区と市が相互に継続的に共通認識をもち、また、校区自主防災組織を中核とする自助・共助・公助のバランスが取れた円滑な校区避難所運営を実現するとともに、校区単位の地域のつながりを強化する。	避難所運営上の諸問題や課題などを見出し、行政と地域が一体となり、避難所を運営することの重要性を再確認するとともに、課題解決に向けた体制づくりを推進することができる。また、校区を単位とする地域の住民や事業所同士の顔の見える関係を構築するきっかけとし、地域における自助、共助を推進することができる。	ワークショップ参加者数(人)	762 (2校区)	411 (3校区)	159 (1校区)
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	美原区区民評議会の平成27年度答申に基づく事業である。	○	住民が主体となる避難所運営ワークショップや訓練を通じて、地域の実情に合わせた避難所運営マニュアルと防災カルテの見直しを行った。	○	校区の地域住民が多数集まり、自分たちが使うマニュアル等をワークショップ形式で作成・見直しする取組は、当該校区にとって初めての取組となっている。
○	業務を委託することで、ワークショップや訓練をスムーズに行い、短期間で効率良く校区の避難所運営マニュアル等の見直しができる。	○	校区の地域住民が多数集まり、自分たちが使うマニュアル等をワークショップ形式で作成・見直しする取組は、当該校区にとって初めての取組となっている。	○	業務を委託することで、ワークショップや訓練をスムーズに行い、短期間で効率良く校区の避難所運営マニュアル等の見直しができる。
⑤自立発展性	総合評価				
○	3か年の最終年度を迎えた校区については、今後自身で避難所運営マニュアル等をアップデートしていく予定である。	○	指定避難所の開設、運用における地域の連携、協働のあり方について、自主防災組織や地域の団体など関係者による訓練やワークショップを行うことにより、校区の現状や課題の分析と整理を行い、校区の実情に応じた避難所運営マニュアル等の見直しをすることができた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	本事業は1校区に対して3か年支援する予定である。今年度参加した1校区(平成31年度が2年目)への支援を継続するとともに、残り2校区にも広げていく。				